

**A** 意味で、350人という体制を目指します。その為には業務の見直しと仕事を推し進めしていくための体制の見直しがセットで考えられる問題だと思っております。

**Q** そうであるならば、組織の再構築はいつなされますか。

**A** 市長 繰り返しながら、現在取り組んでいる組織改革の中で、大きな抜本的な組みかえはできないのか考えます。

**Q** 人事評価制度についてお尋ねします。人事評価制度を導入することにより、職員の皆さんの中でも一時の低下につながる危険性はないのか。評価する管理職の皆さんの研修は、どのように行われているのでしょうか。

**A** 総務部長 モチベーションが下がるようなことがあってはなりませんので、そういう点では、管理職いわゆる評価者の研修は大切だと考えております。実際に事例を挙げながら、管理職の研修を実施しています。

**Q** 高齢化対策について

**A** 市長 はこれから4年間における高齢化対策をどのように考え、どのような具體策をお持ちなのかをお伺いいたします。

**Q** ましては、総合計画のもと、障害福祉計画、次世代育成計画などと連携を図りながら、

高齢者が住みなれた地域で、健やかに安心して暮らせるまちづくりを目指して、山武市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画に基づき、事業を進めていくという基本的な考え方です。今後の高齢者対策としては、大変厳しい限られた財源の中で、みずからできることをして、ただく自助、個人や家族でできないことを、その地域で対応していただく地域の共助、自助、共助で対応できないことを、施設その他公助として行政が対応していくという、地域のネットワーク作りといったものは、避けて通れないのではないかと思います。

**Q** 高齢者の社会参加の促進は、非常に大事な取り組みだと思います。そのため今、行われている対策、もしくは事業について、さらになどどのようにして高齢者の社会参加を進めていくことですが、1人では、孤立してしまいますので、社会参加という形になると、地域での支え合いなり、連携が、必要だと思っておりますので、市長の政策の中にある地域コミュニティの活性化が非常にお大切ではないかと思つておられます。

**A** 保健福祉部長 一定期間におけるデータを科学的に集めて、それを専門家によってどう活性化していくか、という事業が展開されようとしております。この事業に協力しまして、皆様が興味をもつて対応できる事業を推進しております。この事業に協しておきます。認知症予備軍の高齢者対策としての計画はお持ちでしょうか。

**Q** 高齢者の日常生活で、無料設置だと、室内電灯をしっかりと取り組んでいただきたい。例えば、火災報知器の庭木の伐採と処理等々、こういった日常支援ができるのではないかと思います。

**A** 保健福祉部長 は、非常に大事な問題になつてきます。認知症予備軍の高齢者対策としての計画はお持ちでしょうか。

**Q** 高齢者福祉の充実、高齢者の日常生活支援対策もしっかりと取り組んでいただきたい。例えば、火災報知器の庭木の伐採と処理等々、こういった日常支援ができるのではないかと思います。

「議会だより」について、アンケートを行っています。  
詳しくは、山武市ホームページ「市議会」のページをご覧ください。

**議会だより  
読者アンケートにご協力下さい。**

## 議会を傍聴してみてはいかがですか

住所・氏名・年齢を記入するだけの簡単な手続きで傍聴できます。

日程はホームページに掲載しています。  
詳しくは議会事務局まで 電話0475(80)1231



## インターネット議会中継を開始しました。

山武市議会では、広く開かれた議会を目指して、インターネットによる議会中継を開始しました。これは市民の皆さんにとって、市議会がこれまで以上に身近なものとなるように、本議会のインターネットによるライブ中継と録画配信を行うものです。山武市のホームページから平成22年第1回定例会(3月定例会)の様子からご覧になれます。

議会中継のページ (<http://www.city.sammu.lg.jp/section/jimukyoku/gikai/tyuukei.html>)